

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

特別会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	地域介護予防活動支援事業（自主運動グループ育成）			事業番号	011-267
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	長寿支援 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(4) 高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①自立支援・介護予防・健康増進の推進		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
2	関連計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.8
		寄与するKPI	有	取組	地域包括ケアシステムの推進		
3	事業開始年度	有・無	平成 18 年度	点検年度	令和 7 年度		
		無	介護保険法				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、各区、地域団体、市民				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	介護予防につながるボランティアグループや自主運動グループに参加する高齢者の活動支援を行う。新規8グループ（約160人）	対象数	約160	単位	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	高齢者ができる限り自立した生活を送れるよう、要支援や要介護状態の予防（介護予防）を図る。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	地域の介護予防を目的とした自主的な取組をサポートするため、介護予防に資するボランティアグループや自主運動グループ等を育成支援する。 保健センターの専門職による健康教育や運動指導員等の講師派遣（年間100回程度）を行い、新規グループの立ち上げや活動の継続支援を行う。				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)					
10	公民連携・協働事業					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
11 グループ育成数	回	目標値	8	8	8		8
		実績値	0	0			
		達成率	0%	0%			
当該指標を選定した理由		新たに介護予防の取組を始めるグループを育成することで、地域の高齢者の通いの場の増加につなげる。					
目標値の設定根拠・算出方法		介護予防に取り組み自主活動グループの育成数（各保健センター年間1グループ育成をめざす）					
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
			令和2年度	令和3年度	令和4年度		
12 グループ育成支援実施回数	グループ	目標値	107	135	100		
		実績値	50	13			
		達成率	47%	10%			
当該指標を選定した理由		介護予防に取り組みグループが活動を継続できるよう支援する必要があるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		介護予防に取り組み自主活動グループの継続支援回数（前年度実績値以上をめざす）					

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	地域介護予防活動支援事業（自主運動グループ育成）	事業番号	011-267
-------	--------------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

事業費 (a)	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
	事業費 (a)	523	526	616	88	536
13 財源内訳	国支出金	131	131	154	22	134
	府支出金	65	66	77	11	67
	市債					
	その他（被保険者保険料）	262	263	308	44	268
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	65	66	77	11	67
14	人件費 (b)	340	350	350	350	360
15	年間経費(c)=(a)+(b)	863	876	966	438	896

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R3	決算				R3	決算		
16	報償費（講師謝礼金）	R3	決算	88	11		R3	決算		
		R4	予算	429	54		R4	予算		
	消耗品費	R3	決算	0	0		R3	決算		
		R4	予算	105	13		R4	予算		
	旅費	R3	決算	0	0		R3	決算		
		R4	予算	2	0		R4	予算		
		R3	決算				R3	決算		
		R4	予算				R4	予算		
	R3	決算				R3	決算			
	R4	予算				R4	予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
		① グループ育成支援実施回数	回
② 上記①にかかる年間経費	千円	876	88
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	17,520	6,769
備考（算出についての説明等）			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>本市が開催する介護予防に資する教室への参加後、参加者が自主的に継続して活動ができるように、参加者同士の交流や立ち上げ支援を行うこととしていたが、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くことのないまま、感染症拡大防止の観点から教室が開催できず、グループの育成支援の機会が減少した。</p> <p>特に新規グループの立ち上げについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、集まりが中止となったためできなかった。</p>
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>高齢者においては、身近な通いの場で、仲間とともに定期的に介護予防に取り組むことが重要であるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、3密を避けて、個人で介護予防に取り組まなければならない状況となった。一部のグループはDVDを活用するなどして、自宅で体操を継続するなど、工夫しながら介護予防活動を継続していた。今後、対面形式に加え、ICTを活用するなど、通いの場に集まるだけでなく、社会参加できるような取組についても検討する。</p>
----	--